

◎ 未来に向けて横須賀の教育が目指す姿（議論のためのたたき台）

1 現行計画における目指す姿

目指す子ども像

人間性豊かな子ども

目指す子どもの教育の姿

**学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、
信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている**

※ 詳細は5・6ページ参照

2 次期計画に位置付ける目指す姿

【検討事項】

(1) 何を指すか

- ・「子ども像」が良いか、「人間像」が良いか、「教育の姿」が良いか。
- ・どれか一つにするのが良いか、二本立て、三本立てが良いか。
(それとも別の形が良いか。)

(2) どう表現するか

- ・どのような言葉、どのようなスタイルなら思いを込められるか。
- ・市民に響き、伝わりやすいか。

3 議論のためのたたき台

(1) 目指す子ども像

ア 複数の像を示すスタイル

- 1 自ら考え、自ら行動し、自分らしさを大切にする子
- 2 相手を思いやり、違いを受け入れ、ともに助け合える子
- 3 新しい世界に興味を持ち、失敗を恐れずチャレンジする子
- 4 明るく元気によく笑い、つらいときは“つらい”と言える子
- 5 あいさつ・マナー・ルールの大切さがわかる子

イ ひとつの像にまとめるスタイル

自ら学び 違いを受け入れ 笑顔でチャレンジする子

相手を思いやり 自分らしさを大切にし ともに学び合える子

私が好き あなたが好き 横須賀が好きな子ども

(2) 目指す人間像 (目指す人)

ア 複数の像を示すスタイル

- 1 自ら考え、自ら行動し、自分らしさを大切にする人
- 2 思いやりと寛容の心を持ち、多様な人々と協働できる人
- 3 柔軟な発想で、変化する社会を受容できる人
- 4 国際性を身に付け、新しい時代を切り拓く人
- 5 地域を知り、地域を愛し、地域とともに育つ人

イ ひとつの像にまとめるスタイル

自ら学び 変化を受け入れ 互いを認め合える人

ともに学び ともに認め ともに未来を切り拓く人

自立し 認め合い 地域とともに育つ人

(3) 目指す教育の姿

ア 複数の像を示すスタイル

- 1 自分自身で考え、選択し、意見を言える教育
- 2 様々な価値観、多様性を認める教育
- 3 国際性や情報活用能力を身に付ける教育
- 4 笑顔と元気にあふれ、SOS も発しやすい教育
- 5 地域を知り、地域と関わり、地域とつくりあげる教育

イ ひとつの像にまとめるスタイル

自ら学び 互いに認め合い 地域とともに育つ教育

誰一人取り残さず 一人一人の能力・個性が発揮できる教育

豊かな創造性を備え 持続可能な社会の作り手を育む教育

【参考】現行の横須賀市教育振興基本計画

2 子どもの教育に関する考え方

平成23年3月に策定した基本計画では、子どもは未来を担うとても大切な存在であることや、子どもの現状や社会的背景に鑑みて、子どもの教育を重点的に捉えることとしています。第3期実施計画でも、子どもの教育に重点を置いた施策・事業を推進していきます。

子どもは、家族や教師、地域の人々など、多くの人と出会い、支えられ、さまざまな影響を受けることにより成長し、社会を担う人となっていきます。それゆえ社会全体で子どもの成長・発達に関わっていくことが不可欠です。

そのために、基本計画では、11年間を通じての「横須賀の子ども像」と「目指す子どもの教育の姿」を示し、学校教育、社会教育において、学校・家庭・地域が共通の意識を持ち、相互に連携を図って、子どもの教育に取り組むということに重きを置いて、各編の施策・事業を推進していきます。

【横須賀の子ども像】 『人間性豊かな子ども』

自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている

生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている

心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている

自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している

社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している

郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている

これまで、横須賀市では目指す子ども像を『人間性豊かな子ども』とし、子どもの豊かな人格形成に向けて取り組んできました。

これまでの経緯や子どもの現状を考え合わせ、「横須賀の子ども像」として、引き続き『人間性豊かな子ども』を位置付けることとしました。また、教育基本法の精神を踏まえ、学習指導要領における「生きる力」や横須賀の子ども現状と課題を勘案し、特に大切にしたい6つの要素を掲げます。

【目指す子どもの教育の姿】

『学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、
信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている』

学 校

家庭や地域に積極的に関わりを求め、教育活動への協力体制を築くとともに、さまざまな教育活動を通して、子どもの「生きる力」を育成している。

家 庭

教育の原点であり、学校や地域に積極的に関わるとともに、子どもが、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、また、自立心や思いやりの心などを持てるよう、子どもを育てている。

地 域

日常生活はもとより、行事、生涯学習、スポーツ、企業活動など様々な場面において、子どもや家庭に積極的に関わり、学校と連携して、子どもの成長を支援している。

近年、家庭や地域の教育力の低下が指摘されていることを特に重大な課題と捉え、学校・家庭・地域が本来の教育機能を発揮し、連携して、子どもを育てている状態を「目指す子どもの教育の姿」としました。

また、学校・家庭・地域が、主体的に子どもに関わる意識を持ち、役割を果たせるよう、子どもを育てているそれぞれの姿を示しました。

なお、教育委員会は、学校・家庭・地域が「目指す子どもの教育の姿」に向かって進めるよう、積極的に支援や仕組みづくりを行っています。

「目指す子どもの教育の姿」イメージ図

